

1 指導概要

教 科		科 目		
地歴		地理探究	単位数： 3単位	
指導目標：地球的な視野から地理的事象の空間的な規則性、傾向性や関連する課題の発生要因を捉える学習を通して、現代世界の諸事象の地理的認識を深めるとともに系統地理的な考察方法を身に付ける。 また、選択した地域の特性とそこで発生する諸課題について捉える学習を通して、現代世界の諸地域の地理的認識を深めるとともに、地誌的な考察方法を身に付ける。				
メディア視聴	あり	60%	教科書	東京書籍「地理探究」
スクーリング	1 単位時間×3 回	合格時間数 8 時間以上	学習図書	自校作成の教材資料を使用
レポート	全 9 回	合格枚数 9 枚	副教材	なし
試験	あり	試験評価割合 100%	評 定	100 点法 5 段階評定
回	高校通信教育講座 (単元・学習内容)	レポート	スクーリング (日程と内容)	
	現代世界の系統地理的考察 1 地形をつくる力 2 河川がつくる地形 3 海岸と海にみられる地形 気候と人々の生活 1 気候の見方 2 大気大循環と気候 3 海洋と陸水 気候と人々の生活 1 ケッペンの気候区分 2 乾燥帯の特徴と人々の生活 3 温帯の特徴と人々の生活 4 高山気候の特徴と人々の生活	第 1 回 (4/30)	第 1 回	衛星画像や模式図を用いて、地球表面の起伏の状態について読み取るとともに、地形の形成要因について考察する。 気候の形成要素である 気温と降水量の世界的な分布の特徴について理解する。 模式図や主題図を用いて、大気大循環による風の流れの特徴と、それによって形成される降水量分布の特徴から大気大循環と気候について考察する。 また、各気候区の分類基準の理解をふまえ、雨温図やハイサーグラフを作成し、それを読み取ることによって気候区を判別し、その特徴について考察する。
	日本の自然環境と自然災害 1 日本の地形と自然災害 2 日本の気候と自然災害 世界の環境問題 1 地球規模の環境問題 2 地球温暖化の背景と影響 3 森林破壊の背景と影響 4 日本の環境問題 産業と資源 1 産業構造と地域構造	第 2 回 (5/15)		主題図や航空写真を用いて、日本の地形の特徴を理解するとともに写真や模式図を用いて、自然災害の発生要因とそれが人々の生活にもたらす影響について考察する。 日本の気候の特徴の理解をふまえ、自然災害の発生要因とそれが人々の生活にもたらす影響について理解する。 主題図を用いて、地球規模で生じるさまざまな環境問題とその分布の特徴について、スケールの大小や南北問題との関わりをふまえて考察す

<p>2 農業の立地と形態 農林水産業</p> <p>1 農業の立地と形態</p> <p>2 グローバル化と農業地域の変容</p> <p>3 日本の農林水産業</p>			<p>る。産業の変遷過程、それに伴う産業の高度化とその社会的背景について理解する。</p>
<p>資源・エネルギー問題</p> <p>1 化石燃料への依存と国家間の対立</p> <p>2 再生可能エネルギーへ</p> <p>工業の立地と工業地域の変容</p> <p>1 工業の立地と工業地域</p> <p>2 繊維・鉄鋼・石油化学</p> <p>3 工業の知識集約化</p>	<p>第3回</p> <p>(5/30)</p>		<p>グラフを用いて、化石燃料の大量消費に伴い生じる資源の枯渇や環境問題、石油戦略に関わる国際政治の動向について考察する。</p> <p>グラフを用いて、地球の持続可能性という観点から望ましいエネルギー政策の実現へ向けた取り組みについて、多面的・多角的に考察する</p> <p>また、工業の立地条件が複数の類型に区別できること、立地条件が時代とともに変化する背景や要因、もたらされる課題について理解する。</p>
<p>交通・通信</p> <p>1 交通の発達</p> <p>2 情報通信技術の発達</p> <p>貿易の経済連携</p> <p>1 貿易の自由化と経済連携</p> <p>2 現代貿易の課題</p> <p>観光</p> <p>1 観光の発達の地理的展開</p> <p>2 さまざまな観光</p> <p>人口</p> <p>1 世界の人口分布と人口増加</p> <p>2 人口ピラミッド</p> <p>3 人口移動の変容と今日の姿</p>	<p>第4回</p> <p>(6/15)</p>		<p>移動手段の発展が時間距離の短縮につながり、グローバル化を促したことその一端を担う陸上・水上両交通の特徴について理解する。</p> <p>また、自由貿易が促進された背景やそれに伴いもたらされた世界規模での経済連携拡大の状況について理解する。</p> <p>観光産業発達の背景と動向その地理的展開の特徴について、多面的・多角的に理解させる。</p> <p>主題図やグラフを用いて、世界の人口分布の特徴とその背景をふまえた上で、地球規模での人口増加の変遷とその要因、今後の予測について考察する。</p>
<p>人口問題</p> <p>1 発展途上国の人口問題</p> <p>2 先進国の人口問題</p> <p>村落・都市</p> <p>1 村落の機能と形態</p> <p>2 都市の機能と都市システム</p> <p>生活文化の地域性</p> <p>1 文化と環境</p>	<p>第5回</p> <p>(6/30)</p>	<p>第2回</p>	<p>グラフ、写真を用いて、発展途上国が抱える人口問題の特徴とその背景・要因もたらされる影響についての理解をふまえ、問題解決へ向けての国際協力のあり方について提案します。</p> <p>航空写真や地形図を用いて、村落の機能と立地要因、形態の特徴や成立条件についての理解をする。文化についての定義の理解をふまえ、世界諸地域における文化の形成過程と変容過程について、多面的・多角的に考察する。</p>
<p>民族・言語・宗教</p> <p>1 世界の民族と言語</p> <p>2 世界の宗教</p> <p>民族問題</p> <p>1 世界の多様な民族問題</p> <p>2 紛争と難民</p>	<p>第6回</p> <p>(7/15)</p>		<p>民族についての定義の理解をふまえ、言語や国家との相互関係について、多面的・多角的に理解し、世界の宗教分布の特徴とその形成過程についての理解も深める。</p> <p>世界各地で生じている民族問題の背景について、国家や宗教との関わりから考察する。</p>

	<p>現代世界の地域区分</p> <p>1 地域区分の意義</p> <p>2 地域の考察方法</p>		<p>さまざまな指標によって地域を区分することの意義について理解する。また、世界の諸地域の地域的 特色をとらえるための地誌的な考察方法について理解していく。</p>
	<p>東アジア</p> <p>1 中国の改革開放と急速に進む工業化</p> <p>2 中国の農業・農村の近代化と都市化</p> <p>3 環境問題などの課題</p> <p>4 経済成長により広がる中国の影響力</p> <p>東南アジア</p> <p>1 東南アジアの多様な文化</p> <p>2 東南アジアの地域性と農業</p> <p>3 ASEAN の政治と経済発展</p> <p>南アジア</p> <p>1 グローバル化と南アジアの経済発展</p> <p>2 大都市の形成と格差の問題</p> <p>3 インドの人口増加と農村の変化</p>	<p>第 7 回</p> <p>(7/30)</p>	<p>第 3 回</p> <p>改革開放政策に伴って急速に進む中国の工業化とそれによる影響について理解する。改革開放政策に伴いもたらされた中国の農業の近代化とその動向、都市化の現状とそれに伴い生じる諸問題について、具体的事例をもとに学ぶ。</p> <p>加えて東南アジアの文化の多様性や共通性について言 語、宗教を切り口に理解する。</p> <p>南アジアにおける経済 自由化や産業開発、工業化の進展について、グロ ーバル化に伴う経済発展 との関わりから理解しそれぞれの地域の違いを学ぶ。</p>
	<p>西アジアと中央アジア</p> <p>1 交易の歴史と人々の生活</p> <p>2 乾燥地に適応した生活文化と宗教</p> <p>北アフリカとサハラ以南アフリカ</p> <p>1 多様な文化の成り立ち</p> <p>2 アフリカの発展と新たな課題</p> <p>ヨーロッパ</p> <p>1 ヨーロッパ統合の流れ</p> <p>2 ヨーロッパの農 業とその変容</p> <p>3 ヨーロッパの産 業とその変容</p> <p>4 EU の拡大と地域格差</p> <p>ロシア</p> <p>1 多様な民族と宗教</p> <p>2 ポスト社会主義 時代の暮らし</p> <p>3 周辺国との産業・資源をめぐる関係の変化</p> <p>アンソロアメリカ</p> <p>1 アンソロアメリカの農業</p> <p>2 多民族社会がかかえる問題</p>	<p>第 8 回</p> <p>(8/30)</p>	<p>シルクロードにおける交易を中心に発展していった西アジアと中央アジ アの歴史的経緯を ふまえ、両地域における人々の生活の特徴について、農業を軸に理解する。</p> <p>北アフリカとサハラ以南アフリカの共通点と相違点について歴史、生業と文化を指標に理解する。ヨーロッパにおける農業の多様性と現状についての理解をふまえ、EU の共通農業政策の特徴とそれがもたらした課題と見直しの動きについて認識を深め、産業もサービス経済化を s 指標に理解する。EU の東方拡大の背景 とそれによりもたらされ ている課題について理解し、地域格差の問題について認識を深める。</p> <p>○ロシア国内の多様な民 族、宗教についての認識をふまえ、国内における民族問題や周辺諸国 との間を抱える領土問題について理解する。</p> <p>アンソロアメリカの自然環境の多様性とそれによって形成される農業地帯の特色について理解し、多文化社会の形成過程も理解する。。</p>
	<p>オセアニア</p> <p>1 多文化共生の課題</p> <p>2 オセアニアの資源と産業</p> <p>3 オセアニアと他地域との結び付き</p> <p>持続可能な国土像の探究</p> <p>1 日本の地域構造</p>	<p>第 9 回</p> <p>(9/30)</p>	<p>オーストラリアとニュージーランドの多文化社会の形成過程について、先住民 族、ヨーロッパ移 民アジア系移民との関わりから理解する。</p> <p>日本の地域構造の歴史 的変遷について理解するとともに、現代の地域構造の特</p>

	<p>2 日本の国土政策 持続可能な国土像の探究</p> <p>1 課題と仮説の設定 2 仮説の検証と考察さらなる探究へ</p>	<p>提出期限 (11/30)</p> <p>※最終締め切り (1/20)</p>	<p>徴によって生じている地理的諸課題について認識を深める。また、日本の国土政策の歴史 的変遷について理解するとともに、今後の国土づくりのあり方について、 国内における地理的諸課題の現状をふまえて模索する。</p> <p>日本が抱える地理的諸 課題の解決と持続可能な 国土形成の方策の探究に 向けて、 課題探究のプロセスを理解します。</p>
--	--	---	---

2 評価の観点

知識・技能	<p>地理に関わる諸事象に関して、世界の空間的な諸事象の規則性、傾向性や、世界の諸地域の地域的特色や課題などを理解するとともに、地図や地理情報システムなどを用いて、調査や諸資料から地理に関する様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付けるようにする。</p>
思考・判断・表現	<p>地理に関わる事象の意味や意義、特色や相互の関連を、位置や分布、場所、人間と自然環境との相互依存関係、空間的相互依存作用、地域などに着目して、系統地理的、地誌的に、概念などを活用して多面的・多角的に考察したり、地理的な課題の解決に向けて構想したりする力や、考察、構想したことを効果的に説明したり、それらを基に議論したりする力を養う。</p>
主体的に学習に取り組む態度	<p>地理に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に探究しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される日本国民としての自覚、我が国の国土に対する愛情、世界の諸地域の多様な生活文化を尊重しようとするこの大切さについての自覚などを深める。</p>

3 評価の方法

スクーリングへの出席（取り組む姿勢）、レポートの提出（レポートの内容）、試験結果を総合的に判断し、評価します。

4 担当者からのメッセージ

スクーリングへの出席（取り組む姿勢）、レポートの提出（レポートの内容）、試験結果を総合的に判断し、評価します。 面接指導だけで教科書の全範囲を解説することは難しく、説明のスピードも速くなります。教科書を読み、各回の範囲を予習し、レポートをできるだけ完成させた上で面接指導にのぞむことを推奨します。分からないところは、教科担任に聞いてみるのも良いです。